

# 相模川湘南地域協議会 2023 年度活動報告

(報告者：峯谷一好)

## 1. 相模川湘南地域協議会運営委員会の開催

4/12 茅ヶ崎市、5/10 寒川町、6/14 平塚市、7/12 茅ヶ崎市、9/13 寒川町、10/11 平塚、11/8 茅ヶ崎市、12/13 寒川町、1/10 平塚市、2/14 茅ヶ崎市、3/13 寒川町

## 2. 相模川湘南地域協議会総会の開催

4/12 茅ヶ崎市庁舎で開催した。

## 3. 神川橋下河原でのカワラノギクの保護育成活動

圃場管理維持活動の活動日は第一・第三日曜日を主に、第二・第四日曜日も活動日とした。複数人で作業した日は、4月5回、5月4回、6月3回、7月4回、8月4回、9月4回、10月5回、11月4回、12月5回、1月3回、2月3回、3月3回 計52回、ほぼ毎日曜日に、会員が集合して圃場作業を行う事ができた。なお、この他に一人での活動も多数行われた。

### ● 新圃場の増設 新新玉石圃場

京浜河川事務所相模出張所の河川改修工事で掘り起こされた玉石を集めて、2022年秋に作られた旧第一圃場跡地の土手側に新新玉石圃場が増設された。今までの例と同じく初年度の今年は見事なほどに咲き誇った。お花見を11月4、5日に行った。

(増設された新新玉石圃場)



(満開の新新玉石圃場)



**カワラノギク  
お花見会開催**  
4日、5日

国の絶滅危惧種に指定されているカワラノギクのお花見会が、11月4日(正午～午後4時)、5日(午前9時～正午)、相模川の神川橋下

流の河原で行われる。お花見会では保全活動を行う相模川湘南地域協議会の会員が、カワラノギクや保全活動の説明をする。見頃は11月中旬まで。

問い合わせは同協会の  
峯谷さん ☎090・93  
40・6453。

(お花見)



(1月7日種取り)



- 圃場入口看板の裏側にもパネルを設置した

## カワラノギク..(春・夏・秋・冬)←



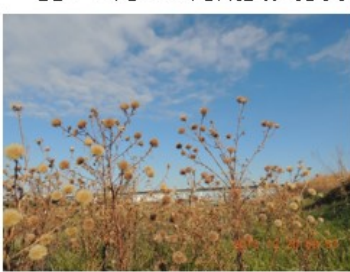
春：4月～5月発芽←



夏：5月～8月成長には日当たりが必須です←



秋：10月～11月開花←



12月：種を付けて立ち枯れ←



冬：多年草、葉を地面に広げ春を待ちます←

桂川・相模川流域協議会 □ 相模川湘南地域協議会 □ <http://katurasagami.net> ←

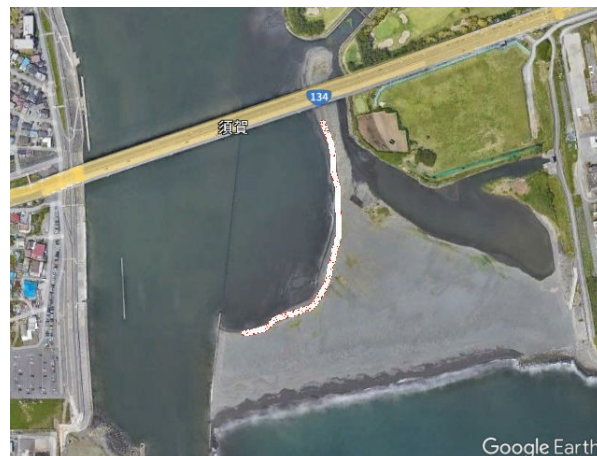
2023年10月設置←

### 4. 相模川クリーンキャンペーン

相模川右岸河口 5/14(日)

参加人員 28名、集めた袋 27袋

相模川の右岸の河口には上流から流されたプラスチックが劣化して打ち寄せられている。ここから先は海で漂う事になるので、海に流れ出る前にくい止めるべく波打ち際(白線の所)を重点的に清掃した。



Google Earth



(10m四方から集めた漂着ゴミ)



(洗い落とした後に現われた劣化したプラチック)



##### 5. 2023年度 身近な水環境調査 6/4(日)前後

- 前年と比較し、COD値は良化が11地点 悪化が15地点、変化無が24地点であった。
- CODの平均値は3.6であり、前年度の3.5より若干悪化した。(8以上は8として計算)
- 相模川、金目川各水系のCOD平均値の昨年からの推移は下記の通りであった。  
相模川水系 3.8→3.6 金目川水系 3.2→3.6

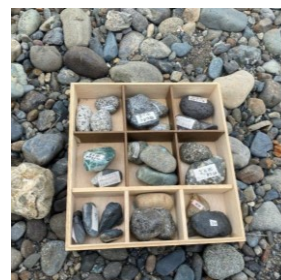


を獲れなくても、それなりに十分に川遊びを堪能したようで、子供たちや親御さんからも満足したと評価された。ウナギ黒子もいた。



### ● 石ビンゴ

川遊びが飽きて来た後半に石ビンゴを実施した。指定した9種類の岩石を集めてビンゴを完成させるもので、上流に土砂由来と火山由来の地質がある相模川の河原ならではの贅沢な遊びである。約20組が参加し、子供たちが石から自然の成り立ちを知る契機となったのでは。



## 8. 上下流交流事業 水ガキになってみよう 7/22 (土) 神川橋下河原



## 9. ウナギ調査

- 寒川第2排水樋門石倉カゴ設置上 4/14
- 馬入水辺の楽校石倉カゴ調査 5/6、7/29
- 寒川第二樋管石倉カゴ調査 5/18 6/15、7/18、9/16

## 10. ひらつか環境ファンクラブ活動発表

平塚市中央図書館 1階ロビー

- 相模川湘南地域協議会の活動紹介 3/2 (土)
- 「ひらつか環境パネル展」 3/1-3/5



## 11. 水環境保全活動奨励賞受賞 講演 6/10 (土)

日本大学理工学部駿河台校舎 8号館

桂川・相模川流域協議会が日本水環境学会関東支部の2023年度『水環境保全活動奨励賞』受賞した。日本水環境学会は、水環境に関連する分野の学術的調査や健全な水環境の保全と創造への寄与等を活動目的としている学会であり、長年にわたり環境保全活動に取り組んできた成果である。

桂川・相模川という川の概要、桂川・相模川流域協議会の成立及び「アジェンダ 21 桂川相模川」について説明した後、主な相模川湘南地域協議会の活動について講演した。

## 11. イベントに参加

(1) 「ミミズと仲良くしよう」で各地のイベントに参加

- 平塚市 緑化祭り 4/29 (土) 8:30-16:00、  
場所 平塚市総合公園 はらっぱゾーンで参加  
一日中途切れることなく、400人近い来訪来訪者があった。  
飼育ケースの腐葉土中にたくさんのミミズとこの春にミミズが生んだ卵包(通称:ミミズの卵)があり、卵包を取り出して水を掛けると、中から赤ちゃんミミズが出て来る。こどもたちが競って卵を見つけるため、一日中ミミズの赤ちゃんの誕生に立ち会えた。子供たちが驚き生き物の不思議を体験した。



かに入ったニホンウナギなどを確認する調査メンバー(6日、平塚市)

## 相模川 ウナギ確認ヨシノ

### 平塚 協議会が生息調査

平塚市馬入の相模川で、国際自然保護連合(IUCN)の絶滅危惧種に指定されている「ニホンウナギ」の生息調査が行われた。

神奈川、山梨両県や流域住民、事業者でつくる「桂川・相模川流域協議会」が2018年度から定期的な実施。今回は昨年秋に2か所に設置したかごを引き上げて、生息数や体長などを調べた後に川へ戻した。

6日の生息調査では多数のエビなどに交じり、15匹のウナギを確認。同協議会の会員で、平塚市のNPO法人「暮らし・つながる森里川海」理事長の臼井勝之さん(70)は「今後もウナギがすめる環境を守るように調査を進めていきたい」と話した。

## 表彰状

水環境保全活動奨励賞

桂川・相模川流域協議会 殿

貴会の取り組みは、桂川・相模川を清く豊かな川として維持する環境保全活動であり、絶滅危惧種の保護ならびに市民の水環境保全意識高揚に資する優れた取り組みであると認め、ここに水環境保全活動奨励賞を贈りその栄誉を讃えます

2023年6月10日

公益社団法人日本水環境学会関東支部

支部長 大塚 佳臣



- 寒川環境フェアー 5/20
- 平塚市子供大会花水子供大会 6/4



(2) 各地のイベントで活動紹介に参加

相模川検体試験、マイクロプラスチック問題などの活動紹介を各地のイベントに参加

- ひらつか市民活動センターまつり 11/26

相模川検定試験にたくさんの人が参加した 64 名。大型ディスプレイの動画に見入ってくれる人もいて、とても良い活動紹介となった。

- 湘南ピクニック馬入水辺の楽校 11/12

マイクロプラスチックをテーマにパネル展示を行った

- 集まれ！ボランティア！市民と NPO のマッチング交流会 3/22

場所：平塚市 ひらつか市民活動センター

